

写真：過去に大阪府がインドネシアに贈った歩道橋。（以前、守口市佐田東町にあった歩道橋を再利用）災害にもかかわらず残ったその頑強な橋が現地の新聞に載りました。大阪府のご担当者に、現地のご担当者（Imamさん）から、それに関する写真とメールが届き、地区にもお知らせいただきました。



Dear Mr. Kitayama,

I would like to inform you about this interesting news about our Friendly Bridge I on Kedaulatan Rakyat, Indonesia's oldest newspaper, Monday, January 17, 2011.

2011年1月17日(月)にケダランタン・ラクヤット新聞(インドネシアで一番古い新聞)に掲載された我々のフレンドリーブリッジ1についての興味深い記事についてお知らせします。

The subtitle says:

副題 記載は以下のとおりです。

"CLEANING THE BRIDGE: Two locals cleaning a bridge above Code river from mud and sand. The bridge that connect Sendowo Village, Sleman Regency and Petinggen Village, Yogyakarta Municipality stays strong, despite of repeatedly being hit by 'cold lava' flood carrying Merapi volcanic material in the form of rock and sand."

「橋の清掃」

地元の方がチョデ川にかかる、泥と砂にまみれた橋を清掃しています。

この橋は、スレマン県のサンドロ村と、ジョグジャカルタ特別州のペティガン村を結ぶもので、ムラピ山の噴火からもたらされた岩や砂からなる冷えた溶岩の洪水(土石流)の再三の直撃にもかかわらず、力強く現場に(生き)残ったものです。

Very interesting news isn't it?

非常に興味深いニュースですね。

Sincerely yours
Imam Pratanadi